

三条大橋－四条大橋間 右岸園路舗装の整備について

1. 現在の舗装状況

- ・土系舗装の表層が流出し、部分的にコンクリートが露出している状況。

【三条大橋付近より四条側を望む】



【先斗町公園付近より三条側を望む】



2. みそそぎ川周辺の整備の基本的な考え方

- 自然を感じ、やすらげる緑化整備
- 足にやさしい土系舗装
- 治水上の支障がない構造
- バリアフリー化
- 町並み、納涼床などと調和する色調

3. 三条－四条間の特徴

- (1) 鴨川の中でも特に利用者が多い。
- (2) 床の設置、撤去のために大型車両が通行する。
- (3) 増水時に園路上を水が流れる頻度が高い。



他の区間よりも耐久性が必要

4. 今回の復旧方針

①舗装種別

三条－四条間の特徴から、景観性、歩行性、維持管理性、施工性に加えて耐久性も重視して舗装種別を決定する。

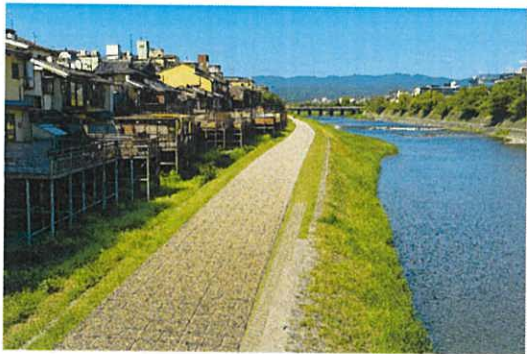
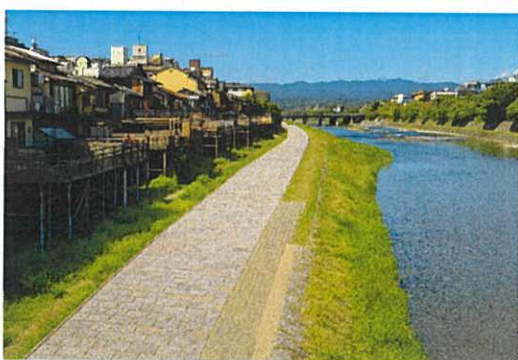
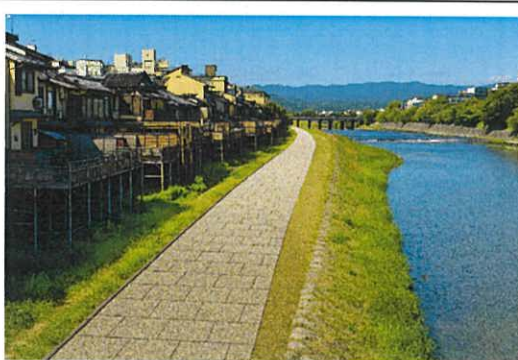
②園路形状

舗装の改修を目的とするため、園路の幅員や線形は、現状のままとする。

③コンクリート基礎部分の再利用

コンクリート基礎部分は、健全な状態であるため、再利用する。

■舗装表層材比較表

案	1案 洗い出し平板ブロック舗装	2案 自然石	3案 石畳み風舗装
イメージ図			
施工例	鴨川右岸四條大橋周辺 	鴨川右岸三條大橋周辺 	白川筋 
特徴	○ コンクリート等の素材で作られた平板を使用した舗装。 ○ 素材や色、表面仕上げの選択肢が豊富で、デザイン性や景観性を持たせることができる。 ○ 三條大橋や四條大橋の周辺で使用されている素材であり、統一のとれた印象となる。 ○ 経年劣化により、部分的にガタツキが発生する可能性はある。 ○ 平坦で歩きやすく、雨天時でも滑りにくい。 ○ 破損時には、部分的な補修が可能。	○ 天然素材による自然な質感。 ○ 使用する石材の質感や色合い、表面仕上げ、サイズ等によって印象は変わる。 ○ 三條スロープなどで使用されている素材。 ○ 経年劣化により、部分的にガタツキが発生する可能性はある。 ○ 表面処理を実施することにより、滑りにくくなる。 ○ 破損時には、部分的な補修が可能。	○ 石畳舗装に似た自然な風合いで、歴史的建造物周辺に合う舗装。 ○ アスファルトの柔軟性とコンクリートの強度を兼ね備えた舗装。 ○ 土系の舗装色を使用することにより、周辺の自然と調和できる。 ○ 鴨川園路での使用例はない。 ○ 白川筋の舗装で使用されている。 ○ 長期にわたり、耐久性が期待できる。 ○ 表面処理を実施することにより、滑りにくくなる。 ○ 破損時には、部分的な補修が可能だが、手間がかかる。